

## 産業建設常任委員会視察研修報告書

視察地：関東甲信越地方

視察先：山梨県山梨市、笛吹市、東京都総務省

実施日：令和5年7月5日（水）～7月7日（金）

旅 費：645,910円（公費）

### 【視察目的】

1. 山梨県山梨市  
・ふるさと納税について
2. 山梨県笛吹市  
・ふるさと納税について
3. 東京都総務省  
・ふるさと納税について

### 【視察結果】

1. 山梨市では、地域資源開発課ふるさと納税推進室より、ふるさと納税の取り組みについて説明を受けた。

山梨市では、令和元年度の納税額が7億3818万円であったが、令和2年度に16億8218万円、令和3年度に31億9347万円、令和4年度に35億8675万円と、近年大幅に増加している。これは、先行予約制度を導入したことによるとの説明があった。令和4年度の返礼品選別割合は、ぶどう66%、桃18%、ぶどうの返礼品種別割合は、91%が高級品種であるシャインマスカットである。

収穫時期が夏であり、寄付需要が高まる年末と時期的に離れている対策として始めたものであり、先行予約により大きく伸びたと考えていると、説明があった。

事業は、ポータルサイトを運営している株式会社さとふるに外部委託しており、その経費は寄付額30億円ベースで約2億6千万円である。

2. 笛吹市では、総合政策部企画課ふるさと納税担当より、ふるさと納税の取り組みについて説明を受けた。

笛吹市では、令和元年度の納税額が2億3978万円であったが、令和2年度に14億1606万円、令和3年度に24億7891万円、令和4年度に31億6301万円と、近年大幅に増加している。

その要因として、令和2年度に専任担当を2名設置したこと、楽天ふるさと納税の利用を開始したこと、全国的に人気の高いシャインマスカットと桃の数量を増やしたこと、年間を通じて提供できるワイン、米、精肉などの品を増やしたこと、フルーツの先行予約を開始したことが考えられると説明があった。令和4年度の人気返礼品は、フルーツが全体の約9割を占めている。

現在、4つのポータルサイトを利用しているが、利用件数の約50%が楽天で

ある。時期ごとに分けて発送する定期便を新規導入するなど、質疑応答の中で説明があった。

3. 総務省では、自治税務局市町村税課より、ふるさと納税制度について説明を受けた。

制度の趣旨や基本的な仕組み、これまでの見直しの内容、令和5年10月から実施される指定基準の見直しについて説明を受けた。

10月からの見直し内容のうち、大きな影響があるのが、付随費用も含めた募集に要する費用を5割以下とすることである。質疑応答の中で、配送料負担が関東圏から離れた地方にとって重いことについて委員より意見があった。北海道など遠方でも全国上位の自治体が多くあり、高額な商品が選ばれている。少額な返礼品だと負担率が高くなるため、工夫をしていただきたいとのことであった。

#### 【視察効果及び西予市での応用】

1. 西予市では、山梨県のように飛びぬけた商品が存在しない。しかしながら、多様な返礼品を準備することができ、カタログギフトや年に何回か分けて発送する定期便の様な仕組みが活用できないか、調査研究が必要と考える。
2. 山梨県では、各自治体が競争しつつも、先行予約を同時に導入するなど、協力もされている。愛媛県では、八幡浜市が納税額首位であり、競争と協力を進められたらと考える。
3. 現在、西予市は事務事業を一般社団法人に委託している。競争が益々激化する中、連携をより密にして、積極的な情報発信や魅力的な返礼品の開発などに取り組まれない。

令和5年9月1日

産業建設常任委員会  
委員長 源 正樹

1. 山梨県山梨市にて (R05. 07. 05)  
～ふるさと納税について研修～



2. 山梨県笛吹市にて (R05. 07. 06)  
～ふるさと納税について研修～

